

地域計画

策定年月日	令和7年3月21日
更新年月日	令和8年4月10日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	竹富町 47381
地域名 (地域内農業集落名)	黒島地区 (保里、宮里、仲本、東筋)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	791.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	4.13 ha
② 田の面積	0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	2.77 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.02 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	258 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	0.81 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.81 ha
(備考)採草放牧地:約787ha ⑤採草放牧地含む	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【担い手】認定農業者:14名 認定就農者:0名 基本構想水準到達者:7名
 【遊休地】1号遊休農地(緑区分:37筆82,089㎡ 黄区分:102筆229,393㎡) 採草放牧地含む
 【所有者】70代未満:59名 70代以上:219名 法人:2経営体 不明・住登外:143名 計421名
 ※農地台帳参照(令和6年度情報)

- ・畜産業が中心であるが販売価格が下落している
- ・天水等の利用が基本
- ・高齢化に伴う人手、後継者不足及び住宅不足
- ・離島であり資材・物価・輸送費高騰等による経営の圧迫
- ・70代以上及び未相続・不在地主の割合が多い
- ・所有者不明農地が多い
- ・土地(採草地)が不足
- ・集団的に遊休地となっている箇所がある
- ・規模拡大したい農家が多い中、直ちに利用可能な農地(草地)がない
- ・農地にアクセスする道路が無く、未整備の道路が多い。道路幅も狭い
- ・鳥獣被害(カラス・クジャク)

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- (高)維持・発展のため、関係機関と連携した草地管理及び飼養技術の確立と粗飼料自給率の向上を図る
- (高)循環型を意識した堆肥利用の検討
- (高)各種勉強会(堆肥)や情報交換の場の機会創出
- (高)安定的な牧草生産・単収増のための畜産用水の確保を検討
- (高)所有者不明農地制度を活用した遊休地解消や改善事業等を導入し、地域に必要な取組みを支援
- (高)黒島牛ブランドのPR(トップセールス)
- (高)作業効率化及び生産コスト縮減を目指した機械の購入支援制度及びリースの検討
- (高)黒島家畜市場の維持・活性化
- (高)働き方改革のための農家従業員寮の確保

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
意向調査にて規模縮小の意思があった農用地については規模拡大や新規就農の意思がある耕作者に集積・集約していく。また今後検討とした農用地についても、現耕作者の意向及び隣接耕作者や新規就農者への集約を行う。ただし、地域の特色もあるため地域と関係機関が連携し利用調整を行う。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	30.93	%	将来の目標とする集積率
			56 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
耕作者や関係機関との利用調整に基づき地域計画の目標地図を更新し、農業を担う者に集約を行う。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
座談会等、地域の話し合いにおいて「今後検討」とした農地についても含め検討し、集積・集約化を行う。
(2)農地中間管理機構の活用方法
意向調査の結果にて規模縮小したいと意向のあった農地を重点的に地域で話し合い、離農者の農地を把握し農業を担う者が利用できるようにする。所有者の意向を汲み、原則機構を通じて契約していく。
(3)基盤整備事業への取組
安定的な農業経営を図るため基盤整備が必要な地区を洗い出すとともに、草地再整備(ストーンクラッシャー導入等)による品質向上に取組む。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
意向調査の結果にて規模拡大したい農家が多く、担い手の確保できてはいるが、安定的に担い手を確保するために、住宅(空家の活用検討含む)の確保、整理、賃貸制度等の構築を取組む。今後も地域と関係機関が連携を図り、説明会等開催し経営体の確保・人材育成していく仕組みを継続して行う。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現在取り組んでいるヘルパー事業を継続

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①カラス、クジャクなどの被害が多いため狩猟免許取得の推進や捕獲活動費、また機材の導入支援を行い地域密着型の捕獲体制を構築
- ③スマート農業を取り組む支援
- ⑦農業振興地域制度に基づいた環境保全と持続発展が可能な農業を目指す
- ⑧畜産振興に向けての施設導入支援
- ⑨環境保全と持続可能な農業を目指した耕畜連携の仕組みづくり

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	肉用牛	4.97 ha	ha	肉用牛	4.97 ha	ha	A	
2	到達	肉用牛	8.23 ha	ha	肉用牛	15.81 ha	ha	B	
3	認農	肉用牛	0.46 ha	ha	肉用牛	0.537 ha	ha	C	
4	到達	肉用牛	7.95 ha	ha	肉用牛	7.932 ha	ha	D	
5	到達	肉用牛	5.74 ha	ha	肉用牛	4.759 ha	ha	E	
6	到達	肉用牛	1.49 ha	ha	肉用牛	0.526 ha	ha	F	
7	認農	肉用牛	0.24 ha	ha	肉用牛	7.041 ha	ha	G	
8	到達	肉用牛	1.09 ha	ha	肉用牛	1.339 ha	ha	H	
9	認農	肉用牛	20.21 ha	ha	肉用牛	19.01 ha	ha	J	
10	到達	肉用牛	8.34 ha	ha	肉用牛	8.53 ha	ha	K	
11	到達	肉用牛	6.78 ha	ha	肉用牛	6.77 ha	ha	L	
12	到達	肉用牛	1.94 ha	ha	肉用牛	2.563 ha	ha	M	
13	認農	肉用牛	9.36 ha	ha	肉用牛	13.62 ha	ha	N	
14	認農	肉用牛	6.11 ha	ha	肉用牛	15.25 ha	ha	O	
15	到達	肉用牛	1.96 ha	ha	肉用牛	4.058 ha	ha	P	
16	認農	肉用牛	1.91 ha	ha	肉用牛	2.835 ha	ha	Q	
17	到達	肉用牛	16.53 ha	ha	肉用牛	2.688 ha	ha	R	
18	認農	肉用牛	0.81 ha	ha	肉用牛	5.504 ha	ha	S	
19	認農	肉用牛	20.78 ha	ha	肉用牛	38.97 ha	ha	T	
20	利用者	肉用牛	1.74 ha	ha	肉用牛	1.109 ha	ha	U	
21	到達	—	0 ha	ha	肉用牛	28.85 ha	ha	V	
22	到達	肉用牛	0.22 ha	ha	肉用牛	17.13 ha	ha	W	
23	利用者	—	0 ha	ha	肉用牛	22.21 ha	ha	X	
24	利用者	—	0 ha	ha	肉用牛	0.28 ha	ha	Y	
25	到達	肉用牛	1.73 ha	ha	肉用牛	1.083 ha	ha	Z	
26	利用者	—	0 ha	ha	肉用牛	0.848 ha	ha	AA	
27	認農	肉用牛	7.9 ha	ha	肉用牛	30.85 ha	ha	AB	
28	利用者	肉用牛	1.79 ha	ha	肉用牛	4.478 ha	ha	AC	
29	到達	肉用牛	4.88 ha	ha	肉用牛	4.916 ha	ha	AD	
30	到達	肉用牛	3.67 ha	ha	肉用牛	8.861 ha	ha	AE	
31	認農	肉用牛	3.47 ha	ha	肉用牛	23.26 ha	ha	AF	
32	認農	肉用牛	7.73 ha	ha	肉用牛	7.699 ha	ha	AI	
33	認農	肉用牛	7.7 ha	ha	肉用牛	8.737 ha	ha	AJ	
34	認農	肉用牛	5.32 ha	ha	肉用牛	8.976 ha	ha	AK	
35	認農	肉用牛	2.96 ha	ha	肉用牛	2.551 ha	ha	AL	
36	認農	肉用牛	14.2 ha	ha	肉用牛	14.87 ha	ha	AM	
37	到達	肉用牛	3.05 ha	ha	肉用牛	3.053 ha	ha	AN	
38	到達	肉用牛	0.27 ha	ha	肉用牛	6.281 ha	ha	AO	
39	到達	肉用牛	1.81 ha	ha	肉用牛	1.815 ha	ha	AP	
40	到達	肉用牛	2.23 ha	ha	肉用牛	2.359 ha	ha	AQ	
41	利用者	—	0 ha	ha	肉用牛	0.28 ha	ha	AR	
42	利用者	肉用牛	1.19 ha	ha	肉用牛	0.028 ha	ha	AS	
43	利用者	肉用牛	1.81 ha	ha	肉用牛	0.02 ha	ha	AT	
44	利用者	—	0 ha	ha	肉用牛	37.01 ha	ha	AU	
45	利用者	肉用牛	0.36 ha	ha	肉用牛	16.96 ha	ha	AV	
46	利用者	—	0 ha	ha	肉用牛	38.04 ha	ha	AW	
47	利用者	肉用牛	0.62 ha	ha	肉用牛	0.627 ha	ha	AX	
48	利用者	肉用牛	6.22 ha	ha	肉用牛	6.443 ha	ha	AY	
49			ha	ha		ha	ha		
50			ha	ha		ha	ha		